



出雲に海苔あり塩あり 岩海苔と神塩の生産観光建築



はじめに



敷地選定

敷地は、鳥取県 / 出雲市 / 年間 600 万人が訪れる観光地の出雲大社エリアを選定した。その中でも、出雲大社の林に位置し、神々のまわりとされる稲佐の浜にある大社港を拠点敷地とする。



着目した出雲の食文化

出雲の食文化の中でも、島国日本らしい2つの沿岸食に着目した。この2つの食料の生産・加工から、地域再生や観光振興を総合的に行う建築を設計していく。

岩海苔

日本特有の岩海苔は磯上部的に産出する出雲が産地とされている。出雲の岩海苔生産量は全国1位だが、様々な課題に直面している。

神塩

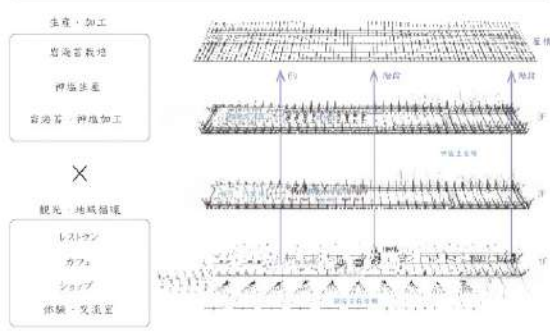
稲佐の浜で採取される塩は神事などに使用され、地域住民の生活にも密着している。食用で採り用として生産販売されている。

現地サーベイ

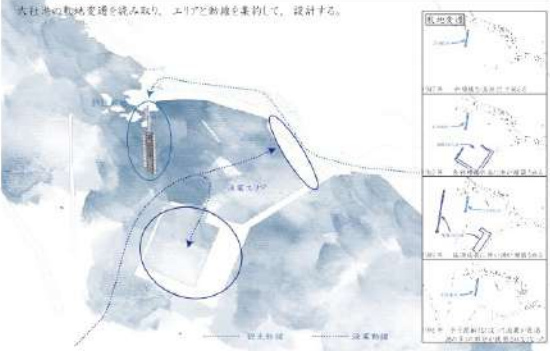
島の集落群 首途等の観光場所 周辺敷地の調査から提案建築に落とし込む。



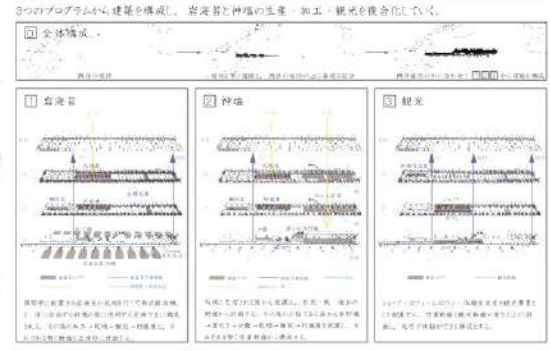
建築プログラム



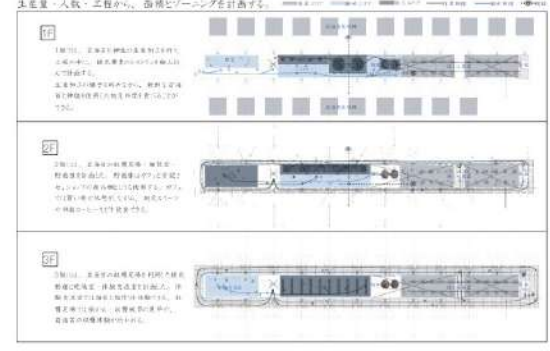
配置計画



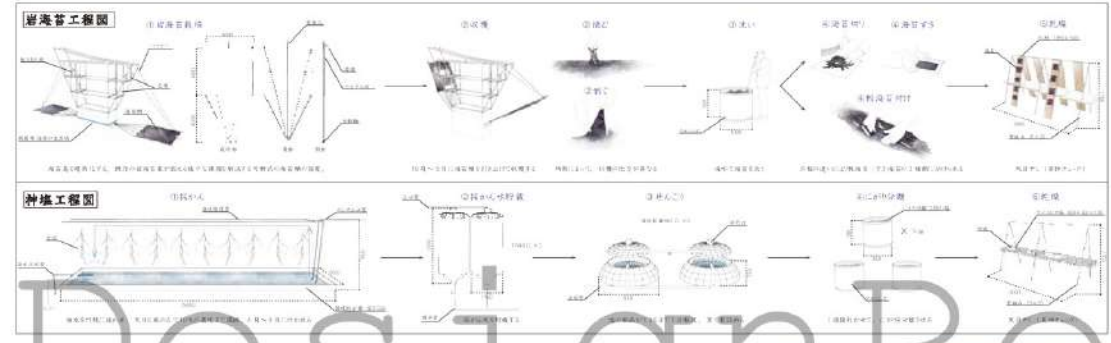
設計 (断面計画)



設計 (平面計画)



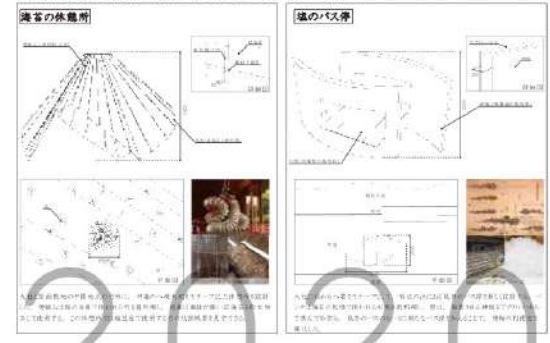
生産・加工提案



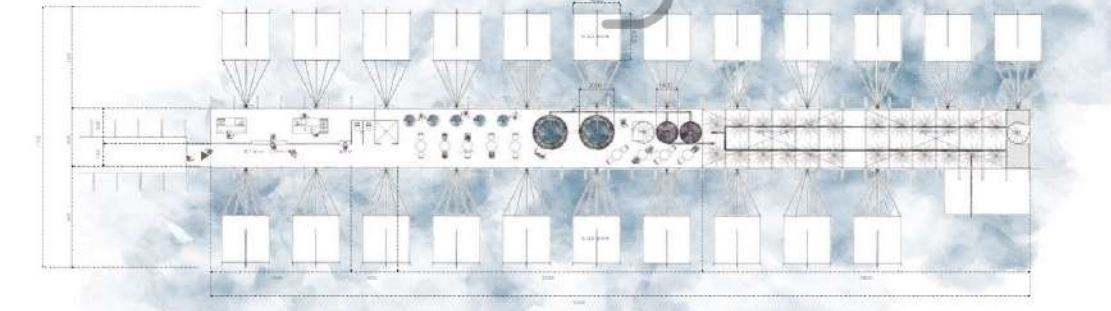
地域提案



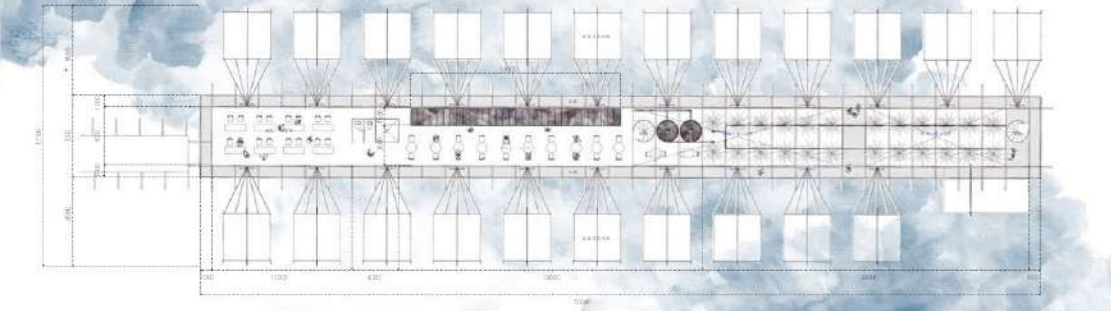
出雲大社と要素集の間に、異なる機能を持つ、2つの体験型を設計する。



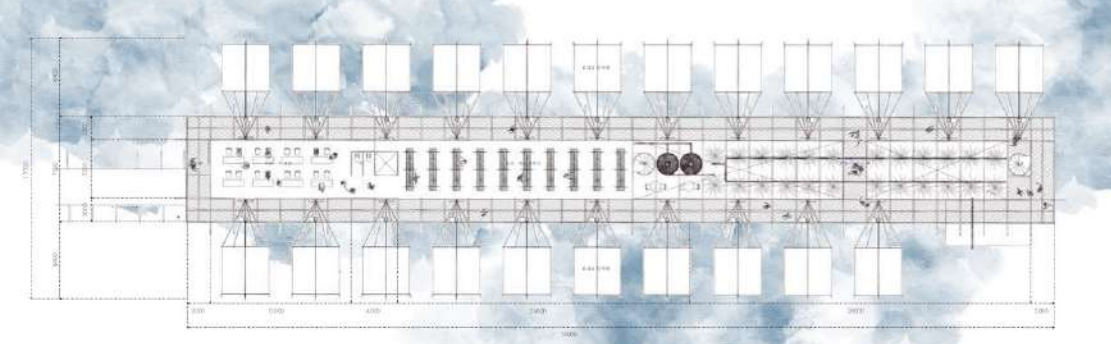
1階平面図



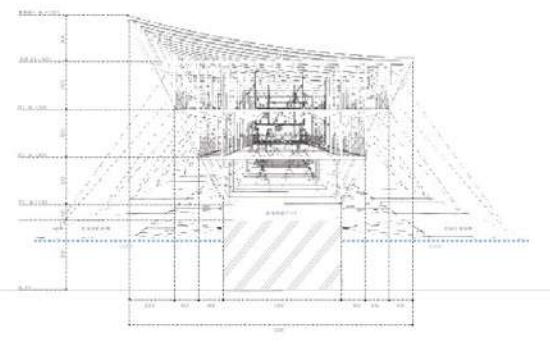
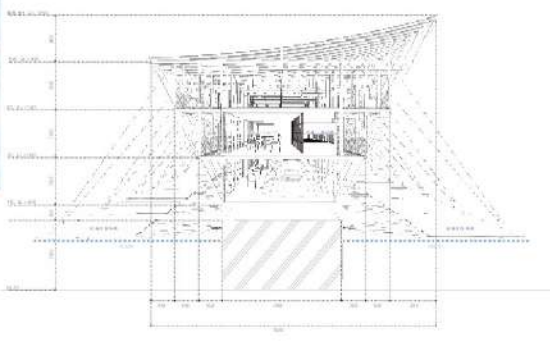
2階平面図



3階平面図

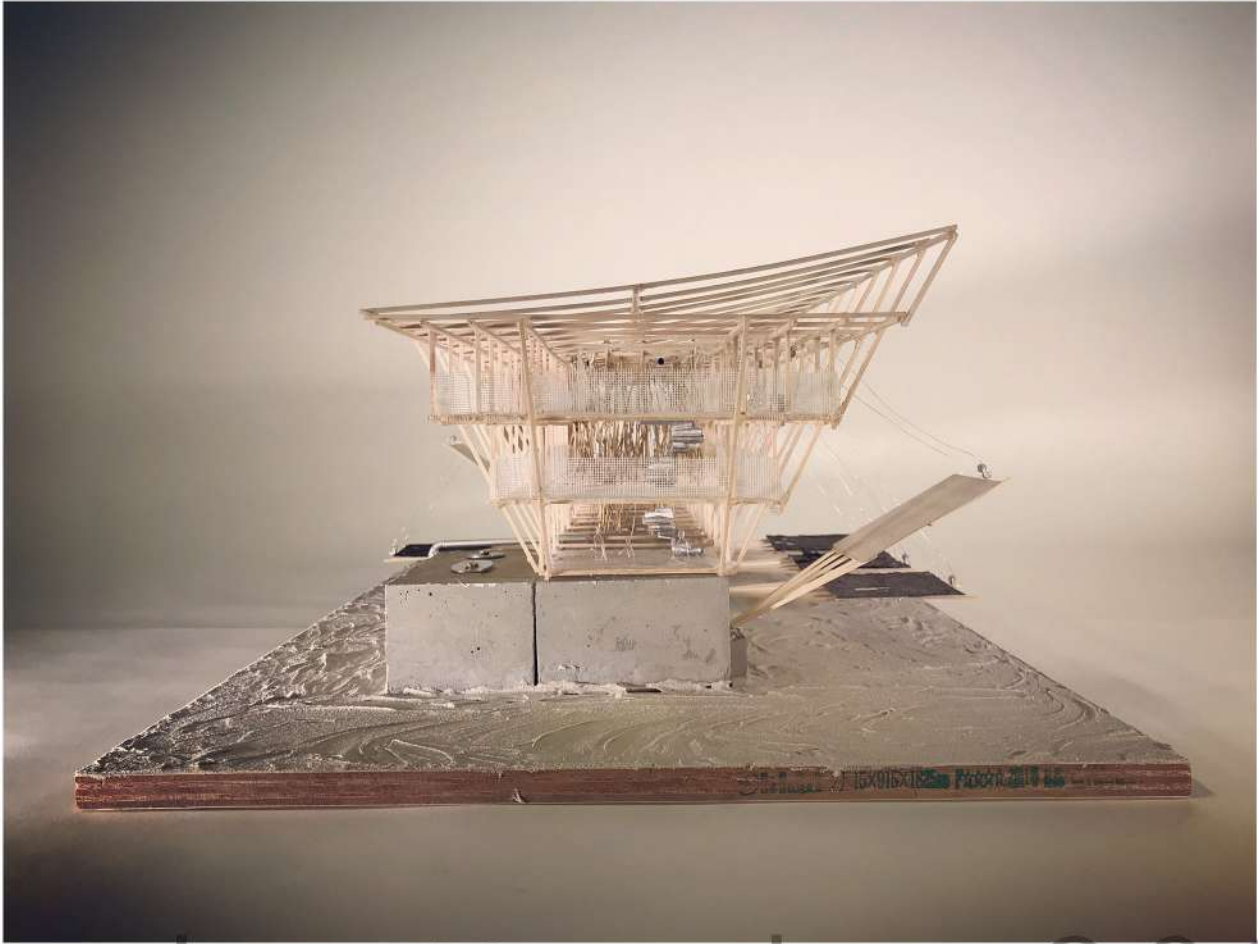


断面図 (Y-1)(Y-2)



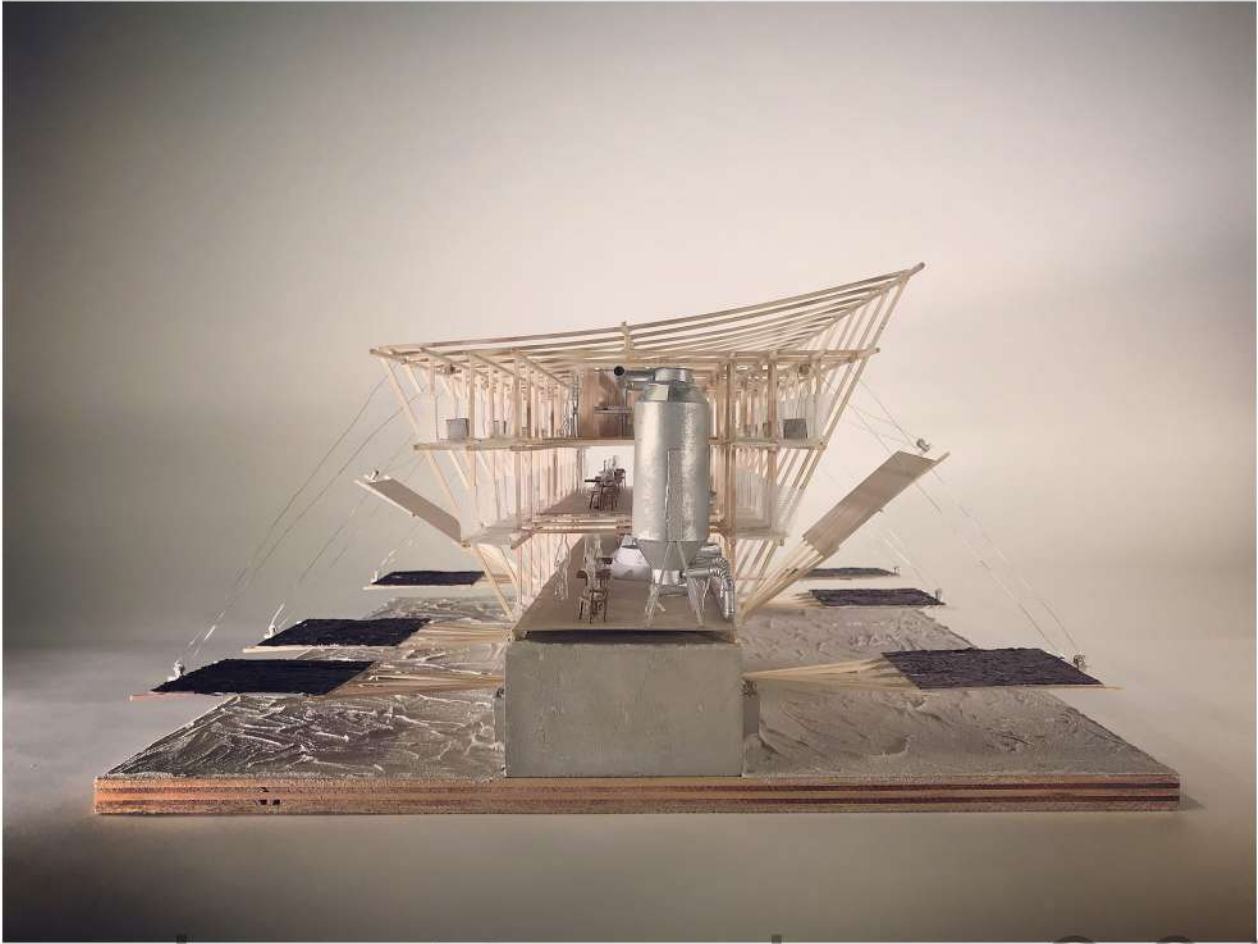
Design Review 2020



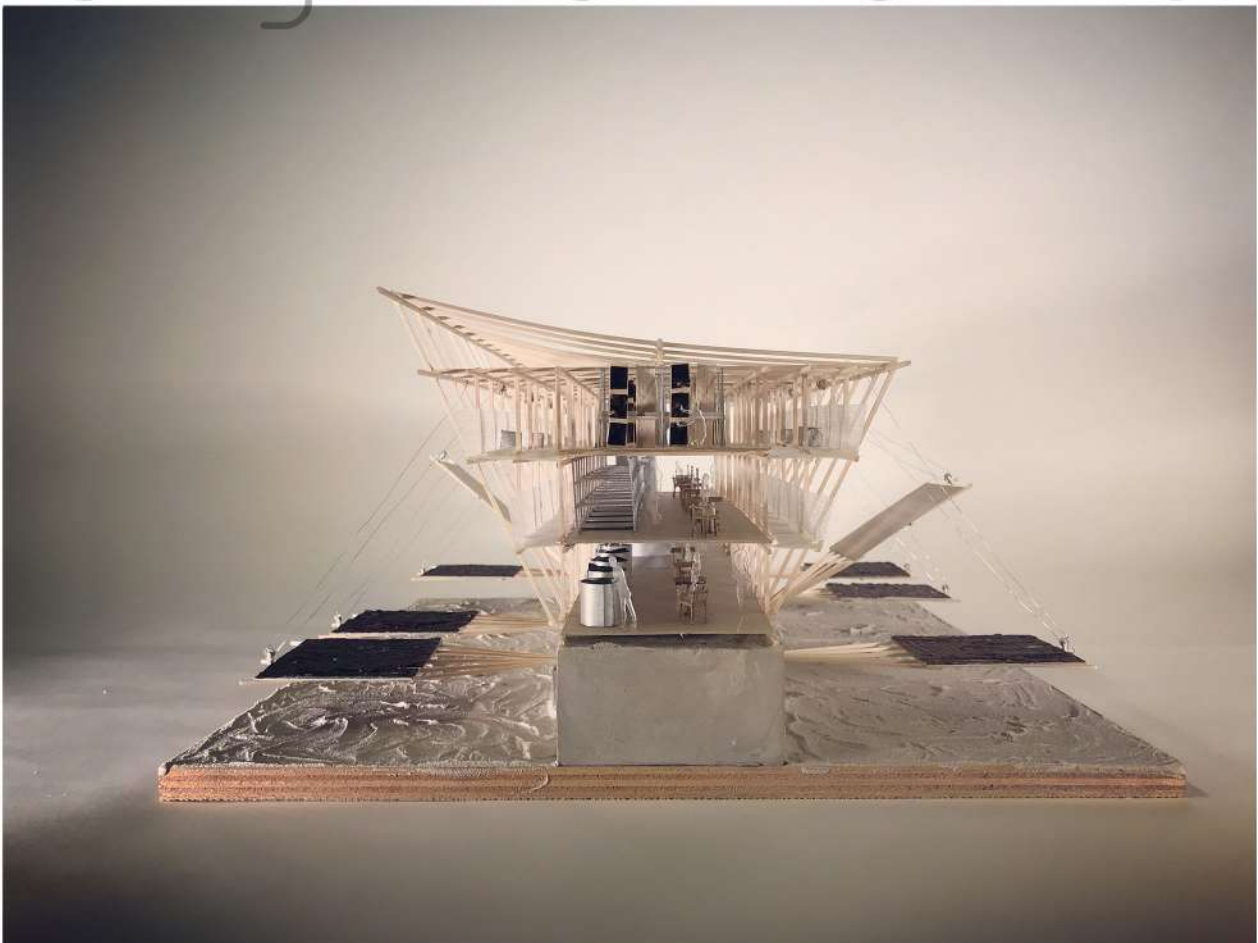


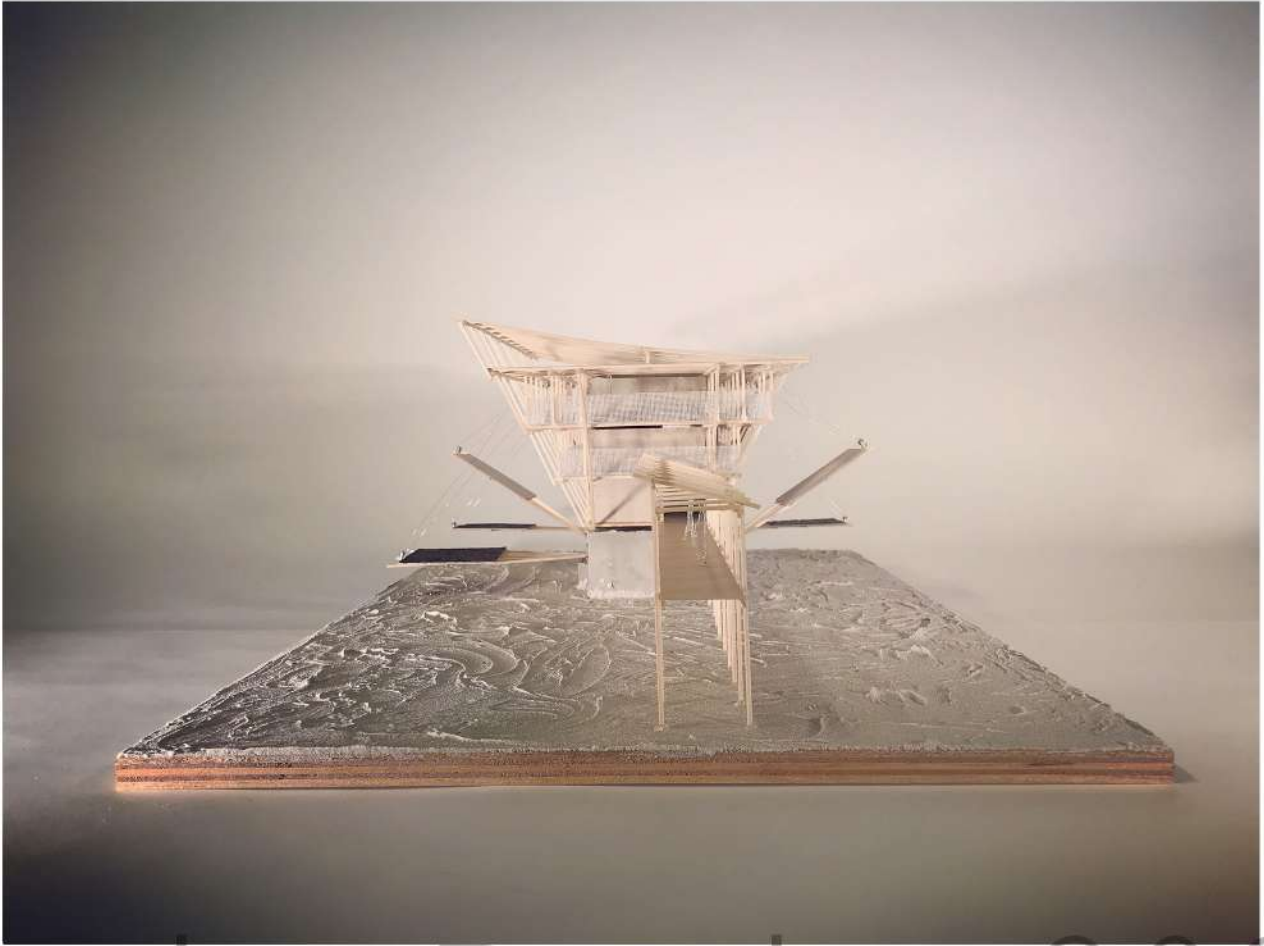
DesignReview2020





DesignReview2020





DesignReview2020

